

平成28年度 各種資格取得試験の日程

試験種類	試験日	願書受付期間	種別	試験場所
危険物取扱者	第1回	6/12(日) 書面申請 4/26(火)～5/10(火) 電子申請 4/23(土)～5/7(土)	甲乙丙	松江・出雲・大田 浜田・益田・隠岐
	第2回	11/6(日) 書面申請 9/6(火)～9/20(火) 電子申請 9/3(土)～9/17(土)		出雲・浜田・隠岐
	第3回	11/13(日) 書面申請 9/6(火)～9/20(火) 電子申請 9/3(土)～9/17(土)		松江・大田・益田
	第4回	2/5(日) 書面申請 12/6(火)～12/20(火) 電子申請 12/3(土)～12/17(土)	乙のみ	出雲・浜田・隠岐
	第5回	2/12(日) 書面申請 12/6(火)～12/20(火) 電子申請 12/3(土)～12/17(土)		松江・大田・益田
消防設備士	第1回	8/28(日) 書面申請 6/28(火)～7/12(火) 電子申請 6/25(土)～7/9(土)	甲乙	松江・浜田
	第2回	12/11(日) 書面申請 10/11(火)～10/25(火) 電子申請 10/8(土)～10/22(土)		松江

資格取得を目指して

ガソリンなどの危険物を取扱うために必要な「危険物取扱者免状」。
 今回も神戸天然物化学(株)と出雲市消防本部から講師を招き、10月4日に
 本年度2回目の試験準備講習会を実施しました。午前、午後と長時間に渡る
 講義でしたが、参加された皆さんは真剣に取り組まれました。
 平成28年度も2回予定しておりますので、ふるってご参加ください!



出雲駅伝開催!

救命ボランティア部は、体育の日に行われる「出雲全日本大学
 選抜駅伝競走」に、各中継所での救護班として毎年参加しています。
 昨年は台風の影響により中止となりましたが、第27回目となる
 今年は天候にも恵まれ無事開催されました。
 それぞれの中継所では、すべてのタスキがつながるまで気を
 緩めることなく、選手たちの動向を見守りました。幸い大きなトラ
 ブルもなく、レースは順調に進み、ボランティア部員一同ほっと胸を
 なでおろしました。



編集後記

今年の干支は申。サルで「冬」といえば、
 温泉ではないでしょうか。雪景色の中、ゆめごちのサルたちの姿は、
 こちらまで暖かくしてくれるようです。思わぬ寒暖の差がある今年の冬。
 体調を崩さぬよう、サルたちにならい、ゆっくりと温泉につかり英気を
 養うのもよいかもしれません。本年もよろしくお願ひいたします。

事務局一同

連絡先

出雲市防災安全協会 事務局
 (出雲市消防本部内)

住所: 出雲市渡橋町253番地1
 電話: 0853-21-6922
 mail: boukakyukai@izumo119.or.jp

デザイン・印刷: 株式会社バリューエージェンシー

出雲市防災安全協会

会報 No.20 / 2016.1
 【発行・事務局】出雲市消防本部内



平成28年出雲市消防出初式

新年のごあいさつ



会長 新藤 正人

平成28年の新春を迎え、会員の皆様には謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。
 また、平素より当協会の運営につきまして、格別のご高配をいただき感謝いたします。
 さて、危険物を取扱う場合に限らず、安全な事業所運営のために、一日の始まりは点検
 からというところは多いと思います。毎日決まった項目を確認する始業前の点検ですが、
 いつものことだからといひ加減なものになってはいないでしょうか。
 日々の決まりきった行動は、慣れや油断のもとです。しかし、それを上手に使うと常に
 良い状態をキープできることも事実です。昨年大活躍したラグビー日本代表の五郎丸選手がそのよい例です。
 「ルーティン」は小さな変化を見逃さないための鍵となるのです。
 今年も安全安心をより一層推進できるよう、皆様とともに活動してまいります。本年もよろしくお願いいたします。

県危連定例表彰

6月25日、浜田市三隅町にある中国電力三隅発電所にて、鳥根県の危険物保安関係功労者の定例表彰式がありました。これは、安全かつ堅実に危険物を取扱ってきた個人や事業所に贈られるもので、今回当協会からは個人の部で二名、事業所の部で二事業所が表彰されました。受賞されたみなさん、おめでとうございます。また表彰式の後は、元東京消防庁職員で危険物に長く携わってきた樋口忠之氏による安全講演会がありました。「危険物規制の変遷と安全」を演題に軽妙な話術と飽きさせない内容で、あっという間の90分でした。さらなる安全安心の向上をめざし、危険物への心構えを新たにしました。



左から
個人の部
 山陰運送株式会社 出雲支店 田川 洋一様
 山陰興業株式会社 木村 憲二様
事業所の部
 株新井建設 新井 様
 神戸天然物化学株式会社 出雲工場 釜坂 様

職場を守るために

万が一のとき、いち早く職場を守るのが自衛消防隊です。9月10日と11日の二日間、鳥根県消防学校で自衛消防隊員研修が開催されました。今回、清流園さんが参加されたこの研修は、職場で起きうる様々な緊急事態での、より効果的な活動の習得を目的としています。よりよい行動に必要な消火や応急手当の実技はもちろん、判断や指示の出し方も、経験豊富な消防学校の教官から講義がありました。より安全な職場作りのために、次の機会があれば参加されてはいかがでしょうか。



消火競技大会

10月14日、一の谷公園を会場に「第23回消火競技大会」が開催されました。これは、市内会員事業所からエントリーされた27のチームが、消火器と屋内消火栓の2部門に分かれて、模擬火災を消火するまでの速さと正確さを競う大会です。当日は秋晴れのもと、どのチームの方も、この日のために練習を重ねてきた成果を十分に発揮されました。また応援の方たちも多数駆けつけ、終始にぎやかな大会となりました。入賞されたチームは以下のとおりです。入賞されたみなさん、おめでとうございます。



消火器の部	屋内消火栓の部
優勝 🏆 (株)出雲村田製作所	優勝 🏆 (株)出雲村田製作所
準優勝 🥈 ヒラタ精機(株)	準優勝 🥈 ヒカワ精工(株)
第3位 🥉 ヒカワ精工(株)	第3位 🥉 JAしまね出雲地区本部
第4位 清流園地域密着型	
第5位 (株)イズミ/ゆめタウン出雲	



視察研修

視察研修に参加して

ダイイチ株式会社 梶谷 智 (協会幹事長)



視察先 山口県玖珂郡和木町 「JX日鉱日石エネルギー株式会社 麻里布製油所」
 広島県府中市 「ヒロポー株式会社」

11月5日・6日の二日間、平成27年度の視察研修に参加しました。今回は、山口県の「JX日鉱日石エネルギー(株)麻里布製油所」と広島県の「ヒロポー(株)」の2社に伺いました。

初日はやまなみ街道と中国道を経て一路「麻里布製油所」に向かいました。敷地内に入り最初に目に入ったのは、出雲市では見られない、様々な配管が複雑に走る何十棟もの施設でした。辺りには油の臭いがし、錆で赤茶けた設備もありましたが、整理が行き届いており、しっかり管理されているという印象を受けました。

まず、この工場の沿革を聞き、そのあと広い敷地をバスで移動しながら見学しました。「戦時中、機銃掃射を受けたタンクが今でもある。」というような逸話と、最盛期の半分の



人員で動かすことができるという最新の統合制御室に、歴史の長さを感じました。そしてその長い間、多くの設備が複雑に入り組んでいるこの施設で、堅実に操業されていることに感銘を受けました。

二日目は広島県府中市にある、ラジコンヘリの製造で有名な「ヒロポー株式会社」を訪ねました。府中市は、家具に代表される古くからのモノづくりの街であることは知っていましたが、実際に訪れるのは初めてでした。

館内の廊下には所せましと飛行機の模型が並び、そのどれもが飛行可能なラジコンということに驚きました。また、人の命を救いたいという思いから、救助現場で活躍できるラジコンヘリも開発中とのことでした。試作機の展示もありましたので、

災害現場で活躍する姿が見られる日も近いかもしれません。

そして、ラジコン製造は会社の一事業であり、私たちが普段何気んに手にする生活用品のプラスチックパッケージなどの製造が本業だと説明を受け、さらに驚きました。様々なことに取り込まれる姿勢に、モノづくりの歴史が脈々と息づいているのを感じました。

業種の違う今回の訪問先でしたが、そのどちらも、長い間に培われた安全への姿勢やものづくりの伝統といったことを、しっかりと受け継いでおられました。次の世代にきちんと伝えていくことが、安全安心につながるのだと改めて感じることで、今回の視察でした。



LPガス運搬車両の事故対応訓練

11月19日、出雲市白枝町 森田産業(株)で事故対応訓練が行われました。「LPガスの運搬車が交通事故に巻き込まれ、積んでいたLPガスの容器が道路に落下し中身が漏れ出した」という事故の想定でした。

乗務員2名は、通報、立入禁止区域の設定、周囲への広報と事故の初動対応を行いました。その後、事故の連絡を受けた事業所職員が現場に駆けつけ、応急措置を行い、到着した消防隊へ状況を報告しました。

訓練後、参加者の方は「机上で行っていた事故対応訓練を実訓練として行ったことで、問題点が見えてきた。今後も訓練を重ねてより良いものにしたい。」と抱負を語られました。

